

マハバーラト (04) / [13] 律法の章

0001. ユディシティル大王を説得するために、ビーシム長老が説いた故事、

0002. 賓客の接待に関する、スダルシャン王の挿話、

0003. ビシュワミットラ仙人の誕生秘話とその子どもたちの名前、

0004. 心やさしく信義を重んずる者の徳性に関する、天帝とオウムの対話、

0005. 運命よりも人間の能力が強力だという話、

マハーラト (04) / [13] 律法の章

0006. 業因と業果に関する説明と高德のブラーマンの賛嘆,

0007. ジャッカルと猿の話——ブラーマンに対する布施の約束を破る罪,

0008. シュードラに説法することに伴う罪の報い——あるシュードラと仙人の話,

0009. ユディシティル大王の各種の質問に対するビーシムさまの返答,

0010. 忌むべき食物、招待と布施を受ける資格の有無に関するブラーマンの資質,

マハバーラト (04) / [13] 律法の章

0011. ブラーマン殺しに匹敵する重罪と各所の聖地についての説明 ,

0012. 聖ガンガジー (ガンジス川の敬称) の威徳についての説明 ,

0013. ビートハッビヤ王がブラーマンになった話 ,

0014. 聖者の吉祥の相と、鳩の命を守ったウシナル王の話 ,

0015. ブラーマンの威徳についての説明 ,

マハバーラト (04) / [13] 律法の章

0016. 布施を受けるにふさわしい人物の判別法と、女性保護に関する話、

0017. デウシャルマ仙人がビプルの行為を反省させ、妻と彼を伴って天国へ行った話、

0018. 娘の結婚に関する考察、

0019. 種族の崩壊と他人に養われる子どもの説明、

0020. 牝牛の威徳に関する大聖者チャヤワン仙人とナフシ王の古話、

マハーラト (04) / [13] 律法の章

0021. チャヤワン仙人がクシク王の忍耐力を試したこと,

0022. チャヤワン仙人の子孫がブラーマンになるという神約を授けたこと,

0023. 各種の吉祥の仕事、池を掘り、庭を作る仕事の功德,

0024. ビーシムさまが適正な布施と、高德のブラーマンを礼拝する功德を説いたこと,

0025. 王の行う祭祀、布施、ブラーマンの世話、民衆の保護などについての法話,

マハーラト (04) / [13] 律法の章

0026. 土地の布施の重要性 ,

0027. 穀物、金、水などを布施する功德 ,

0028. 各種の布施の説明と不徳に関するヌルグ王の話 ,

0029. ブランマ神が天帝に牝牛を盗む罪の深さを説かれたこと ,

0030. 祈誓、規則、自制などの賞賛と牝牛布施の方法 ,

マハバーラト (04) / [13] 律法の章

0031. 牝牛布施の功德、白牝牛の誕生とその尊厳について、

0032. ウァス尊師が息子に語った牝牛布施の偉大な功德、

0033. 牝牛の偉大な福德と、黄金の発祥とその布施の功德、

0034. 日柄と星宿を選んで法要をし、食用油などを供養する功德、

0035. 法要で試されるブラーマンの資質、

マハーラト (04) / [13] 律法の章

0036. 法要に関してアットリ仙人がニミ仙人に授けた説法 ,

0037. 断食、不犯の行などの特徴と、所有に伴う諸悪を明かす例話 ,

0038. 聖地巡礼で蓮華が盗まれたことに呼応して、天界の仙人と王仙たちが戒律の誓いを立てたこと

0039. 傘と靴の布施に関する太陽神とジャムダグニ仙人の話 ,

0040. 家住期の戒律に関する大地と聖クリシナの対話、そしてシュクラ仙人の説話 ,

マハバーラト (04) / [13] 律法の章

0041. 断食の誓いの重要性 ,

0042. 寿命の長短を左右する吉、不吉の行為に関する説明 ,

0043. 兄弟同士のつきあい方と断食の効用についての説明 ,

0044. 貧者に富者の大祭祀にも劣らない功德をもたらす断食、心の聖地、地上の聖地の重要性についての説明 ,

0045. ブルハस्पティ仙人が生類発祥の由来と罪の原因、畜生の胎に宿る道筋を話したこと ,

マハーラト (04) / [13] 律法の章

0046. ブルハスパティ仙人がユディシティル大王に説いた穀物の布施と非暴力の戒律の重要性 ,

0047. 殺生と肉食の非難と肉食をしないことの賞賛 ,

0048. ウヤス尊師が施した一匹の虫への恩愛 ,

0049. 虫が多くの生類の身を受けたあと、ブラーマンの家に生まれ、じまいに梵天界へ行ったこと ,

0050. ウヤス尊師とマイットレイ仙人が布施、苦行などの威徳を賞賛したこと ,

マハーバート (04) / [13] 律法の章

0051. シャンディリとスムナの対話——妻の貞操についての説明 ,

0052. 懐柔の利点——悪魔とブラーマンの対話 ,

0053. 法要に関する天使と祖霊の対話、戒律に関する天帝とブルハスパティ仙人の対話 ,

0054. ビシヌ神、ブランマ神、ラクシミ女神、火の神などによる戒律の秘法の解説 ,

0055. アルンダティ尼、太陽神、ブラマト (シウ神の近習) などによる戒律の説明 ,

マハーバート (04) / [13] 律法の章

0056. 適正でない布施や食物を受けたときの贖罪の方法 ,

0057. 布施の功德の実例と五種の布施の説明 ,

0058. ナラド仙人が聖クリシナに、戒律に関するシウ神とパルワティ神妃の問答について話したこと

,

0059. 林住期の戒律に関する説明 ,

0060. 種姓の上下を決める因縁、束縛、解脱、および天国行きの吉不吉の条件 ,

マハーラト (04) / [13] 律法の章

0061. 天国と地獄を振り分ける言動,

0062. パルワティ女神の語る女性の戒律,

0063. 聖クリシナのご神徳についての説明,

0064. ビシヌ神の千の名前,

0065. 念誦するにふさわしい呪文と、吉祥の名前と、ガヤットリ頌句を歌唱する功德,

マハーラト (04) / [13] 律法の章

0066. ブラーマンの威徳の説明とカルトビーリヤ王と風の神の対話，

0067. 風の神がカシャブ、アガステヤ、ワシストなどの諸聖仙の威徳を説いたこと，

0068. ビーシムさまが聖クリシナの神徳を讃えたこと，

0069. ブラーマンの威徳とシャンカル・シウ神の神力についての聖クリシナの説明，

0070. 持戒と破戒の業報、善人と悪人の特徴および善行についての説明，

マハバーラト (04) / [13] 律法の章

0071. 吉不吉の行為が幸不幸の原因となることを話しながら、戒律の実行を強調したこと、

0072. ビーシムさまがユディシティル大王にハスティナプールへ帰るように命令したこと、

0073. ビーシムさまが聖クリシナに身を捨てるための許可を申し出たこと、

0074. 息子ビーシムの死を悲しむガンガ女神を、聖クリシナが慰めたこと、

マハバーラト (04) / [14] 馬供養祭祀の章

0001. ウヤス尊師が話したマルット大王の故事 ,

0002. マルット大王が祭祀を行うための承認をとりつけたこと ,

0003. ブルハスパティ仙人が火の神をマルット王のところに送ったこと ,

0004. サンワルト仙人が呪文の力ですべての仙人を呼んで、マルット王の祭祀を成就させたこと ,

0005. ユディシティル大王がハスティナプールの都へ帰ったこと ,

マハーラト (04) / [14] 馬供養祭祀の章

0006. 聖クリシナがアルジュンに、ドアルカへ行く意向を伝えたこと、

0007. 聖クリシナが大覚者の仙人とカシャプ仙人の話をしたこと、

0008. 生類の死と死後の三種の状態についての説明、

0009. 生命の受胎、業の戒律、因果応報の必然性、生死の輪廻を脱却する方法、

0010. 解脱を得る方法の説明、

マハーラト (04) / [14] 馬供養祭祀の章

0011. ブラーマンが妻に、器官の祭祀と心と器官の対話について説いたこと、

0012. プラン（生命の氣息）、アパン（屁の氣息）など体内五氣息の対話、

0013. 内面の神の主体性と大宇宙の最高原理という名の森の説明、

0014. 魂の超脱、パルシュラーム仙人によるクシャットリの殲滅、

0015. アムバリシ王の歌った詩頌とブラーマンとジャナク王の対話、

マハーバト (04) / [14] 馬供養祭祀の章

0016. 聖クリシナがアルジュンに紹介した、解脱の戒律に関する師弟の対話，

0017. プランマさまによる、冥質、俗質、純質についての説明，

0018. 純質など三原質の特性、自然の名称と最高神の本質に関する知識の威光，

0019. 自我意識からの五大元質器官の発生と、魂、神、自然と解脱道についての説明，

0020. 動不動の生類の主権者、戒律などの特徴，

マハバーラト (04) / [14] 馬供養祭祀の章

0021. 物質の初めと終わり、知識の永遠性、肉体の輪廻、家住期の戒律の説明 ,

0022. 梵行期、林住期、隠棲期の戒律についての説明 ,

0023. 最高神を体得する方法についての説明 ,

0024. 最高神と人間の相違、知者の賞賛、五大元質の特質と魂の優越性の説明 ,

0025. 苦行の力、魂の本質、魂の知識の功德、第三のギータの要約 ,

マハバーラト (04) / [14] 馬供養祭祀の章

0026. 聖クリシナがアルジュンとともに、妹のスバッドラを伴ってドアルカへ向けて出発したこと、

0027. 聖クリシナがウッタंक仙人を宥めて神知の秘密を説いたこと、

0028. 聖クリシナがマル国で水を得るという神約を授けたこと、

0029. ウッタंक仙人の師恩報謝、王妃の耳輪を求めたこと、

0030. ウッタंकが貴重な耳飾りを得て、師の妻アハッリヤに渡したこと、

マハバーラト (04) / [14] 馬供養祭祀の章

0031. 聖クリシナがマハバーラトの大戦争の様態を話したこと、

0032. 聖クリシナがワスデウさまに、アビマンニユ殺害の真相を話したこと、

0033. ユディシテイル大王がヒマラヤへ行って、放置されていた黄金を運んできたこと、

0034. 聖クリシナのハスティナプール来訪と、女性たちが聖クリシナに泣きついたこと、

0035. 聖クリシナが死児パルクシットを蘇生させたこと、

マハバーラト (04) / [14] 馬供養祭祀の章

0036. 聖クリシナがユディシティル大王に馬供養の祭祀の開始をすすめたこと、

0037. ウヤス尊師の命令で、一頭の馬を選び、その保護をアルジュンに任せ、軍隊もあとにつづいたこと、

0038. ツリガルト国の勇士がアルジュンに敗北し臣従を誓ったこと、

0039. プラグジョティシプールにおけるワジラダットとアルジュンの戦い、

0040. サインダウの勇士たちとアルジュンの戦争がドシャラの仲裁で終わったこと、

マハバーラト (04) / [14] 馬供養祭祀の章

0041. アルジュンが息子バブルワーハンと戦って殺されたこと、

0042. ウルピの努力で生き返ったアルジュンが馬供養の趣旨を話したこと、

0043. アルジュンがマガド、チェディなどの王を制圧しながら、ガンダル国へ到着したこと、

0044. アルジュンが帰還し斎場の飾りつけを見て諸国の王が驚嘆したこと、

0045. アルジュンが帰還したあと、ウルピたちもハスティナプールに来たこと、

マハバーラト (04) / [14] 馬供養祭祀の章

0046. バブルワーハンなどの歓待と馬供養の祭祀の開始 ,

0047. ユディシテイル大王がブラーマンに謝礼を贈り、諸国の王を見送ったこと ,

0048. 大聖者アガステヤ仙人の話 ,

0049. ユディシテイル大王に、聖クリシナが戒律の本質と自分の神力を説明したこと ,

0050. 四種の種姓の仕事と成果、戒律の知識、罪障消滅の方法 ,

マハバーラト (04) / [14] 馬供養祭祀の章

0051. 無意味な誕生、布施、人生についての説明、純質、俗質、冥質の布施の特徴、

0052. 精子と卵子の純粹性、ガットリの念誦、ブラーマンの威徳についての説明、

0053. 閻魔大王の国への旅の困苦とそれからまぬがれる方法、

0054. 水の布施、穀物の布施、客人接待の重要性、

0055. 土地の布施、ゴマの布施、高德のブラーマンの威光、

マハバーラト (04) / [14] 馬供養祭祀の章

0056. 各種の布施の威力 ,

0057. 五大祭祀、規則に適う水浴と体の各部分への対応、神に捧げる供花と信仰の説明 ,

0058. 白牝牛の威徳とその十種類の区別 ,

0059. 白牝牛の威光、生類を地獄と天国へ振り分ける罪悪と聖行の違い ,

0060. 戒律と清潔の特徴、隠者と客の接待の説法、礼儀作法など ,

マハバーラト (04) / [14] 馬供養祭祀の章

0061. 食事の方法と牝牛に草を与える方法の重要性、ゴマと砂糖黍を搾ることの戒め、

0062. 危急のときの戒律、ブラーマンの資質、信仰を深めるためのよい時期、

0063. 火の本質、火の供養の方法とその威力についての説明、

0064. チャンドラヤン祈誓の方法、その目的と威力についての説明、

0065. 万人を幸せにする戒律と十二夜の祈誓の重要性、

マハバーラト (04) / [14] 馬供養祭祀の章

0066. 春分秋分の吉日と日蝕月蝕の当日に布施をする功德、菩提樹の威徳など、

0067. 良いブラーマンと悪いブラーマンの識別、信仰、牝牛、菩提樹の頌徳など、

0068. 聖クリシナの説法の要旨とドアルカへの出立、

マハバーラト (04) / [15] 道場の住人の章

0001. ユディシティル大王がドルトラシトラ前大王とガンダリ太后に対し最高の処遇をしたこと、

0002. ドルトラシトラ前大王が森に入る準備をし、ユディシティル大王が心を痛めたこと、

0003. ドルトラシトラ前大王が政治の要諦を説いて聞かせたこと、

0004. ドルトラシトラ前大王が森に行くにあたり、ユディシティル大王に後事を託したこと、

0005. サンプという名のブラーマンが民衆を代表してドルトラシトラ前大王に答えたこと、

マハバーラト (04) / [15] 道場の住人の章

0006. ドルトラシトラ前大王がビーシム長老などの法要を大々的に行ったこと、

0007. ドルトラシトラ前大王が森に入り、クンティがユディシティル大王などを都へ帰らせたこと、

0008. ドルトラシトラ前大王とガンダリ太后などが、クル地区で厳しい苦行をはじめたこと、

0009. ナラド仙人がドルトラシトラ前大王に苦行の重要性を説いたこと、

0010. パンダウたちがクル地区に行って、ドルトラシトラ前大王に会ったこと、

マハバーラト (04) / [15] 道場の住人の章

0011. ドルトラシトラ前大王とユディシティル大王の対話，

0012. ユディシティル大王が仙人たちの道場を見、大聖者ウヤス尊師がドルトラシトラ前大王を慰めたこと，

0013. ガンダリ太后とクンティ王母がウヤス尊師に戦死した勇士たちを見たいと願ったこと，

0014. ウヤス尊師が戦死した勇士たちを出現させてそれぞれの関係者に会わせたこと，

0015. ジャナメジャイ王が死んだ父に会い、ユディシティル大王などが都へ引き揚げたこと，

0016. ナラド仙人がドルトラシトラ前大王たちの死を告げ、三人の法要を行わせたこと、

マハバーラト (04) / [16] 呪いの棍棒の章

0001. 惨劇を予知した聖クリシナがヤドウ族に聖地巡礼を命令したこと、

0002. ヤドウ族の破滅、

0003. 聖クリシナが兄バルラームさまと最高神の国へ行ったこと、

0004. ドアルカに駆けつけたアルジュンと話しあったあと、ワスデウさまが死去したこと、

0005. アルジュンとウヤス尊師の話しあい、

マハバーラト (04) / [17] 死出の旅路の章

0001. ドローパディを伴って、パンダウ五人兄弟が死出の旅路に出発したこと、

0002. 旅の途中でドローパディ、サハデウ、ナクルたちがつぎつぎに倒れたこと、

0003. ユディシテイル大王が肉体を保ったまま天国へ行ったこと、

マハバーラト (04) / [18] 天国への上昇の章

0001. 天国でナラド仙人と話したあと、ユディシティル大王が地獄を見たこと、

0002. ユディシティル大王が人間の身を捨てて天国へ行ったこと、

0003. マハバーラトの結末とその威光、

